

## 蝦名理恵(えびなりえ)さん



- ・栗山町出身
- ・旭川の自宅を拠点として夫は北見市、自身は札幌市に愛犬のトイプードルと共に単身赴任。大学生の息子と3人家族で4かまど。
- ・北海道食糧事務所栗山支所採用。その後札幌、北見、滝川、旭川勤務を経て現在の北海道農政事務所事業支援課勤務に至る。
- ・2012年～2013年 旭川市民農業大学受講。
- ・北海道新聞「朝の食卓」コラム担当(上川版「北極星」から通算8年目)。
- ・好きなこと：農と食を中心とした地域巡りと魅力発信、生産者とシェフをつなぐイベント企画等。

# 地域で見つけた宝物

北海道農政事務所 生産経営産業部事業支援課

6次産業化担当専門官 蝦名理恵

こんにちは！北海道農政事務所で六次産業化を担当しております蝦名と申します。ご縁があって私にバトンがまわって参りました。ご依頼いただいた時に「堅い感じの冊子なのでやわらかく、今まで人気だったのは子供のことなど・・・」という内容でしたので、気を楽に自由に書かせていただきます。

二〇代の頃から、近視で、三〇代には目の病気を患いと、弱点の一つに目が悪いことがあります。そして年齢と共に耳も遠くなり・・・ですが、鼻、嗅覚には自信があるので、す！美味しいもの、面白そうなことにはなぜだか吸い寄せられます。そんな中で地域で見つけた宝物を紹介していけたらと思っていますのでよろしく願います。



ときめき隊と一緒に「親子ふれあい教室」  
山川八重子さん

### ◆相談される人になりたい！

あつという間に四〇代になったある日、生意気盛りだった私は当時の女性上司に「四〇代からの生き方で顔が変わる」などと偉そうにのたまったことを覚えています。五〇代になった今、振り返って穴があつたらはいりたい（笑）と反省しています。

食育の担当だった私は、ひたすら「現場のニーズを探りたい」「この人に相談したら面白いと思ってもらいたい」と考えていました。

### ◆女性農業者グループ

#### ときめき隊 山川八重子さん

その頃出会ったのが山川八重子さんでした。この方との出会いは自分の中でも大きな意味のあるものでした。

突然行つた私に山川さんが語ってくれ

た農業や食べ物の大切さの話の数々。そしてその思いを伝えたいと活動していること。それを聞いているうちに、「私も何かやらなければ」という思いにかられ、当時、始めたばかりの頃だったと思いますが「野菜ソムリエ（ジュニア）」の資格を取得しました。当時も今もこの肩書きで何か活動をしようと思っている訳ではありませんが、自分にほんの少し「仕事以外の付加価値」がつけられるのかなと思っています。そしてこの後も農家の女性グループとは、「地元の食材を使って親子での長い巻き寿司作り」「浜の母さんと山の母さん」コラボで魚教室」などいろいろなイベントを開催しました。たまにお会いすると、その都度いつも、自らのおかれた場所で次の挑戦を考へている姿勢は学ぶことだらけ。今でもふと笑顔が思い浮かびます。



初めてお会いした時に中澤ワインヤードで  
中澤由紀子さん

## ◆ 農業としてのワイン作りの

### 魅力にどっぷり！

さかのぼること今から数年前、ワイン好きの友人がやっと手に入れたと自慢していたワイン「クリサワブラン」、栗沢と言えば実家のある栗山町のすべ側……。実家近くでそんなに貴重なワインが作られているなんて！と気になって「クリサワブラン」の農園、「中澤ワインヤード」のことを調べてみました。まずは、栗山町役場に勤める友人に聞いてみるも、「クリサワブラン」のことは詳しく知っておらず、手に入れている人も近くにはいないとの話。簡単に手に入らないとなると益々欲しくなるのが人間の性（さが）というもの！地図を調べると、もう随分前に遊びに行ったことのある同級生の家の近くにそのぶどう畑があることがわかりました。そんな身近なと

ころに人気のワイナリーがあったなんて！と驚くやら嬉しいやらで行きたい気持ち益々つりました。

そして、ある日実家に向かう途中にぶらっと中澤ワインヤードに立ち寄りしました。HPで他のワイナリーのワインを販売していることも知り、とにかく寄ってみたくなったのです。突然訪れた私ですが、運よく来客を待っていた奥様の由紀子さんと出会うことが出来ました。「ぶどう畑を見てくださいか？」と声をかけていただき、お話を聞いたその日からすっかり「中澤ワインヤード」の虜となり、ますます幻の「クリサワブラン」を飲んでみたい気持ちが強まりました。

それから、メールや訪問を繰り返し、毎年秋には収穫のお手伝いに参加させていただき、念願だった「クリサワブラン」も飲むことができました。「ぶどうを育てワインとなる」言葉にすれば簡単

ですがそこには美味しいものを作るためには妥協することのない、ぶどう作り、ワイン作りがありました。自分が収穫したぶどうの一部が翌年の「クリサワブラン」となる、言葉では表現できないワクワク感があります。クリサワブランではなく農業としてのぶどう、そしてワイン作りの魅力にすっかりやられ、いろいろなワイナリーを訪問してお話を聞くのが大好きです。

ぶどう収穫のお手伝いに行って三年、一年目は無事に終わったのですが、二年目は手元のぶどうが見えにくくなっていくことに気づき、三年目は膝ががたがた・・・。たった一日しか関わっていませんが、農業の大変さも身にしてみえます。だからこそ、出来上がったワインを手にする時、それを飲む瞬間は至福のひとつとき。このことを語りだすとこれだけで終わってしまいそうなのでこの辺で

終わりにします(笑)。

#### ◆ FMリベール

「上川で元気なおいしさ

見つけ隊」

旭川に勤務していた頃、旭川開発建設部の方のつながりで何度か地域のFMラジオ番組に出演させていただきました。面白おかしい話はできませんが、司会など、形どおりに読んだり声に出したりす

るのは幼稚園の頃から大得意(笑)。ラジオで話したりするのは好きだなー、もっとやりたいなーなどと声に出していたら、気づいたらパーソナリティをやらないかと言ってお話をいただきました。

番組は「上川で元気なおいしさ見つけ隊」、毎回ゲストを招いての三〇分番組で、二〇〇八年の三月から私が異動する二〇一六年四月まで放送は八年間、来ていただいたゲストはしっかり数えたことはありませんが軽く一〇〇人を超えました。



旭川「FMリベール」

この時のゲストの方たちとの出会いは今でも自分の中で大切な財産になっています。そして無料で公共の電波を使わせていただいたFMリベール様、前例のない中で温かい目で見守ってくれた当時の周りの方たちにも謙虚に感謝。そしていつか機会

があればまたやりたいという野望もないわけではありません(笑)。

### ◆ブレナイ社 野呂貴弘社長

そして最後はこの方、食に特化したセールスプロモーションを行っている株式会社ブレナイの野呂社長です。「ブレナイ」と誰かに紹介したら必ず「は？」と聞き返されるその社名。文字通り企業理念等から「ぶれない」ようにと想いをこめての社名だそう。既存の一方通行の



株式会社ブレナイ 野呂貴弘社長

広告ではなく、商品を実際に食べて飲んで購入につなげるため様々な企画、料理教室を行っています。これがユニークで面白い。彼とは仕事で知り合った訳ですが、いつしか休日に料理教室のお手伝いを頼まれたり、参加者で出席したりとそういった時間も自分にとってリフレッシュできるひとときです。

年に八〇本開催するという料理教室も最近ではターゲットを絞って開催、「サッカーをやっている中学生をもつ保護者のための料理教室」などはいたく感じました。スポーツをやっている子をもつ保護者はある意味、子供の身体づくりに真剣です。不特定多数に商品売り込むよりは効率的というもの、新しい発想や消費者の声、流行などを「ブレナイ社」の企画から学ぶことが

できます。

「仕事で肩こりがひどくて手足が冷えている女性向けの料理教室」もお願い！と言っているのですが聞き流されていません。

### ◆すべては現場から

類は友を呼ぶ！幸せなことに、周りには料理人や料理研究家、美味しいものでつながった友人がたくさんいます。休日は直売所に向かったり、直接生産者の農園に行き話を聞くことも多く、公私共に現場の声を聞く機会がたくさんあります。

北海道にはたくさん「ここにしかないもの」、気づいていない魅力やたくさん可能性があるはず。農業と食、観光をつなぎあわせワクワク、ドキドキ、楽しくなるような地域の魅力を発信するお手伝いをしたいと思います。